

ダイバーシティ(Diversity)は、直訳すると「多様性」となり、「幅広く性質の異なるものが存在すること」「相違点」という意味があります。いうならば、「人と人との違い」のことです。ダイバーシティ(Diversity)は、人々の差異や違いを意識した言葉で、多様性のある状態を作ることによって焦点を当てています。

### ダイバーシティ(Diversity)の基本概念

- 個々人の「違い」を尊重し受け入れる
- 「違い」に価値を見つける
- 職務に関係のない性別、年齢、国籍等の属性に考慮せず、個人の成果、能力、貢献だけを評価する
- 「違い」にかかわらず、すべての人が平等に参画し、能力を最大限発揮できるようにする

インクルージョン(Inclusion)は、直訳すると「包括・包含・受容」という意味があります。組織に所属しているすべての従業員が仕事に参画し、成果に貢献する機会があり、個々の特性や魅力が十分に反映されながらも、組織全体が一体感をもって活動している状態を指すビジネス用語として浸透しています。

そして、インクルージョン(Inclusion)は、一体になるという意味合いの強い言葉で、人々が対等に関わり合いながら、組織に参加している状態を作ることです。一人ひとりが自分らしく組織に参加できる機会を創出し、貢献していると感じることができるよう社会をつくることで、組織や社会全体がいきいきとし持続的な成長をしていくことにつながります。

